

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【福島県・いわき市】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	いわき市立平第三小学校 5年生 88名、6年生 82名
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（総合的な学習の時間） ② 行事名（ ） ③ その他（ ） (2) 地域における活動 ① イベント名（夢をつなごう!!復興リレー） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	○ 2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けて、スポーツの意義や価値などに理解・関心を高め、主体的にスポーツに参画できるようにする。
5 取組内容	○ 総合的な学習の時間 <ul style="list-style-type: none"> ・ 単元名「未来の自分へ」(5年) ・ 単元名「わたしたちの未来を見つめよう」(6年) ※ オリンピックの歴史をたどったり、パラリンピックの意義を調べ、自分の生き方を考える。 ○ オリンピック選手及び世界的な大会の出場者を招く。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 東邦銀行陸上競技部 吉田真希子さん、青木沙弥佳さん ※ 講演「オリンピックから得たこと・学んだこと」 ※ 実技「速く走るための基礎技術」 ○ 夢をつなごう!!復興リレーへの参加 <ul style="list-style-type: none"> ・ 6年生代表児童7名 ・ 元巨人軍 鈴木尚広氏と復興リレーの伴走 ・ ランニングワークショップへの参加
6 主な成果	○ オリンピックやパラリンピックに対する興味・関心が高まり、歴史や意義を意欲的に調べる児童が見られた。 ○ 一流の陸上選手の競技にかける思いや出場権を得るための努力などの話を聞き、陸上競技及びオリンピックへの関心が高まった。 ○ 速く走るためには、正しい姿勢をつくること、地面を押して反発をもらうことで推進力につながるなど、基本的なドリルを中心に学ぶことで、速く走ることへの意欲が高まった。



	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">  </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">陸上実技の様子</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;">   </div> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">復興リレーの様子</p>
<p>7実践において工夫した点 (事業の特色)</p>	<p>○総合的な学習の時間に関連付け、自分の夢や目標を実現するためのキャリア教育の一環として取り組んだ。</p> <p>○オリンピックを招くにあたっては、市教育委員会と連携をとりながら進めてきた。</p>
<p>8主な課題等</p>	<p>○他教科との関連や効果的な学習方法等を検討し、全校的な広がりを進めていく必要がある。</p> <p>○オリンピックから話を聞いたり、実技を受けたりすることは大変有意義ではあるが、継続して実施するには、単独校だけでは難しいと考える。</p>
<p>9来年度以降の実施予定</p>	<p>○2020年東京オリンピック・パラリンピック大会に向けて、全国的な機運が高まる中、本校としても継続して実施していきたいと考えている。</p>